



これも、全て、応援してくださった**皆さん**のおかげです。  
本当にありがとうございます **m(\_)\_m**

正直、ちょっと感慨深くもあります。 **ジーン(：；)**

さあ、次の通過点120話目指してガンバロウ！ (..)φｷｷｷ  
(まだ、続くん？って言わないでね～。)

さてさて、記念すべき100話に、  
かの有名な「ボレロ」と「吹奏楽の為の第一組曲」の事を書くとは、  
なにか因縁めいたモノを感じます。  
(ちょっと大げさですね。)

ボレロ (**Boléro**) は、  
**TV**で**CM**やドラマ、クイズ番組などイッパイ使われています。  
多分、白鳥の湖に並ぶほどの超有名なバレエ音楽だと思います。  
(バレエ音楽なんですよ。知ってはりました?)

初演は1928年11月22日にパリのオペラ座でありました。  
丁度80年前です。  
この曲は、  
最後の2小節以外は、最初から最後まで同じリズムが繰り返されます。  
そして、最初から最後まで**1**つのクレッシェンド(だんだん大きく)のみ、  
メロディも**A**、**B**、**2**つのパターンのみ  
と言うような、  
文章で書くと、とってもヘンな特徴を持つ曲です。

最初は、小太鼓(スネアドラム)のソロで、  
最初から最後まで同じパターンを同じテンポで演奏します。  
(原曲では約17分間、気を失いそうになります(\*\_\*)

作曲者はモーリス・ラヴェルと言う人ですが、  
ボレロ以外にシェエラザードと言う曲が有名です。

パリ郊外に、モーリス・ラヴェルが最晩年を過ごした家をそのまま保存し、  
博物館として展示しているそうですよ。  
(出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』)

んで、ウチの消防音楽隊で購入したのは、

あの **Blast!**

のオープニングで用いられていたのと同じ楽譜で、  
5分弱程度の編曲の譜面です。

なかなかとっつきやすい編曲です。

それを渡された隊員達は、  
「案外楽勝ですね。」  
なんて生意気な事をおっしゃっています。  
(チッ、チッ、チッ、君達、甘い、甘い。)

この曲の本当の難しさは、譜面ではなく、  
演奏にある事を未だ知りません。  
一見単調に見える旋律を、  
複数の奏者が同時に演奏しても、  
一人が演奏しているかの様に聴こえなければなりません。  
ウチの場合、同じ音を吹いたとしても、  
和音(不協和音です。お間違えなく。)に聴こえます。  
おまけに、先ほど書いたように、  
小太鼓(スネアドラム)はずっと同じパターンを叩き続けるのですが、  
絶対間違えてしまうんです。  
(自分もシッカリ間違えてしまいました(^^;))  
そして、ただ一つのクレッシェンド。  
これがクセモノです。  
早く合奏をして見たくて、私自身ワクワクしております。

そしてもう1曲。

吹奏楽をされている方のほとんどが演奏した事がある  
(と、勝手にきめつけてますが、)

『吹奏楽のための第一組曲』(First Suite for military band)です。

実は、音楽隊でいつかは演奏して欲しかった1曲で、  
ついに、念願が……、とまで書いて、  
そんな気持ちも多分合奏した瞬間に打ち砕かれちゃうんだろうな〜と、  
現実に引き戻されちゃいました。

この曲の作曲者はグスターヴ・ホルストとイギリスの言うお方。

最も知られた作品は、

『惑星』(The Planets)ですが、  
全般的に合唱のための曲を多く遺していて、  
イギリス各地の民謡や東洋的な題材を用いた作品でも知られています。  
でも、『惑星』の後、これ以上に名声を博す作品を遺すことはなく、  
他の作品とはかけ離れた点も多い『惑星』1作が有名になった点について、

ホルスト自身は不満を漏らしていたらしいです。

(出典前出)

その有名な『惑星』の中でも、

最も有名なのが、

「木星」(Jupiter)です。

日本では歌詞がついてヒットしましたので、

もうそれこそ老若男女、広い層で知られているはずです。

とにかく、『惑星』を今聴きなおすと、

現在の映画音楽にも大きな影響を与えた1曲である事を

再認識する事請け合いです。

そのホルストの旦那が書いた

『吹奏楽のための第一組曲』ですが、

実は、先に、

(組曲の全部は無理なので、

第一楽章の「マーチ」だけですが、)

『吹奏楽のための第二組曲』(Second Suite for military band)を

ウチでは演奏しておりました。

だから、第二組曲 → 第一組曲 という、

変則な順番で、譜面を配布した形になってしまいました。

『吹奏楽のための第一組曲』1909年に作曲されました。

来年の3月に計画中の企画で、

演奏する事にしていますので、こちらは作曲されてから丁度100年。

「ガンバレ、消防音楽隊!その100話」にここで繋がります。

(は一、よかった～。なんとか「100」繋がりに持ってこられました。)

当分は、『ボレロ』と『吹奏楽のための第一組曲』で、弛んでいる隊員をバシバシしごく予定です。

(-\_-)/~~~ピシー!ピシー!

更新が約1週間遅れてしまい、本当にすいませんでした。

ゴメンナサーイ(>\_<)

## ガンバレ、消防音楽隊！ 第101話

メッチャ少ない人数でしたが、強引にも

「ボレロ」と「吹奏樂の為の第一組曲」をなんとか合わせてみました。

まず、「ボレロ」ですが、

伴奏は永遠に同じ事の繰り返しで、

旋律の楽器が順番に出てくるはずなのですが、

各楽器が演奏するところを、チャント、キッチリに演奏してくれないので、

「今どこ？」

「今どこ？」の連発です。

隊員は自分が頼りないので、

他の隊員を当てにしているのですが、

当てにされている隊員も頼りないので、

**演奏の将棋倒しになって、全員でコケテしまいます。**

(最低やー(ToT))

もうそろそろこの楽器やと思っても、入って来ねー。

もうそろそろ終わりのはずだと思っても、終わらねー。)

私は小太鼓と大太鼓とシンバルを、ドラムセットでやったんですが、

曲に気をとられたり、ふと気を抜くと、いつぺんに間違えてしまいます。(^^;)

次、「吹奏樂の為の第一組曲」ですが、

こっちは「ボレロ」と違い、伴奏は変化があります。

(普通の曲はそうやねんね。)

これも1人で小太鼓と大太鼓とシンバルにトライアングルをします。

でも、簡単ではないので、

やっぱり演奏になりません。

(どうすんのー！)

そして、「千の風に乗って」

皆、ホッとした表情でなんとか演奏していました。

終わった瞬間

「やっぱり、日本の曲やねえ～」

「クラシックはアカンは。」

と、いつもの様に急に饒舌になっていました。

ホンマに、こんなんで、3月の出演は出来るのだろうか。

超々々々、不安な気持ちのまま、2008年へ突入です(;o;)

オマケです：φ(^^)ノ

ジャン!!☆年末恒例(?)

この一年間の活動をサラッと振り返るコーナー☆

◎出演内容 なし 累計出演回数 もちろん200回のまんまデス～  
来年はほんの少し増えるかなあ？

本当に自画自賛ですが、自分にとって、今年は、  
この「ガンバレ、消防音楽隊！」が連載100回を迎えたのが、とても大きいです。  
よくここまでお付き合いして下さったと感謝しております。  
また、本当によく続いた事だと感心しています。  
これも全て読んで頂いている皆さんのおかげです。  
ありがとうございます m(\_)\_m  
つまらない駄文で大変恐縮ですが、  
これからも懲りずにお付き合いをお願い申し上げます。

千の風になって、発掘！あるある、ネットカフェ難民、馬インフルエンザ、不二家、リンナイ、タミル、共生、  
ビクトリー、硫黄島、赤ちゃんポスト、ダンボール肉まん、植木等、石景山遊楽園、ボンバル機、炎上、  
KY、産む機械、VISTA、金属ドロ、エキスポランド、クックス、闇サイト、ネット還元水、特待生、  
しょうがない、Pirates of the Caribbean: At World's End、どげんかせんといかん、オグシ、  
CIRQUE DU SOLEIL DRALION、そんなの関係ねえ、大阪LOVER、がばい、テトックス、鉄子、  
おしりかじり虫、中越沖地震、柏崎刈羽原発、猛暑日、モンスターアメント、別に・・・、大食い、  
コンプライアンス、チャイショック、核施設無能力化、かわいがり、不都合な真実、ハケン、シク、菊地凜子、  
工場萌え、Dice-K、白い恋人、赤心慶福、吉兆、ミトホープ、Mac、NOVA、GT-R、LS600hL、  
ワーキングプア、医療崩壊、10億寄付、Blast!、防衛省、突然辞任、サング、大連立、ミヤマー、  
阿久悠、ガッソ高騰、円楽、にしおかすみこ、新テロ特措法、ヒンギス、iPS細胞、年金着服、  
古田敦也、相撲協会、ホームレス中学生、星野JAPAN、PISA、COP13、オム、新入国審査、  
サブプライムローン、Dimple、ホームレス中学生、水虫パン、Led Zeppelin、岡島秀樹、薬害肝炎、  
サントイチマン、2万%

12月10日、伝説ロック・バンドLed Zeppelin (レッド・ツェッペリン) が  
ロンドンで1度限りの再結成コンサートを開催しましたね。

本格的なコンサートは約30年ぶりらしいです。

19年ぶりに顔を揃えるVoのロバート・プラント、  
Gtのジミー・ペイジ、Bのジョン・ポール・ジョーンズと、

80年9月に事故死したDrのジョン・ボーナムの息子・ジェイソン・ボーナムです。  
Led Zeppelinは、米国だけでも通算アルバムセールス1億枚を超えており、  
プレスリーやビートルズと並ぶセールスを誇り、  
マイケル・ジャクソンやローリング・ストーンズの倍以上のセールスだそうです。  
全世界でのアルバムセールスの累計は現在のところ3億枚を突破しているとか。

特に4thアルバム収録の「天国への階段」は、  
あのカラヤンが、  
「私がこの曲をアレンジしたとしても、全く同様になったことであろう」  
と言わしめたロックの名曲で、  
存命中のメンバー3名がそろった時にしか（歌入りで）完奏されない、  
彼らのシンボリック曲です。（イントロ部分は超有名です。）

1971年9月の来日時には、  
自ら広島でチャリティーコンサートを開いて、  
当時の金額にして約700万円の売上金を、  
広島市役所を通して原爆被災者に寄付しています。

故ジョン・ボーナムのプレイの凄さは説明不要で、ドラマーの間では今も憧れの的です。

今回の再結成コンサートの観客席は世界50カ国のファンで埋め尽くされたようで、  
1度限りの開催だったものの、ファンの期待に応えるため、  
ワールドツアーを開催するのではないかと噂も出ているとか。♪ベンベン

そのチケットなのですが、  
オフィシャル特設サイトでの事前登録者からの完全抽選でしたが、  
ものすごいアクセス数で、サイトがダウンする程の過熱ぶり。  
プロモーターサイドは、  
チケットがオークションに出された場合にはすぐに削除するとし、  
また当選者はダフ屋にチケットが渡らないようにして欲しいともコメントして、  
当選後のチケットの行方にも注意していました。♪ベベンベンベン  
1枚の正規価格は125ポンド（約2万8000円）ですが、  
これとは別に、リハーサル見学特典付きのペア・チケットが、  
オークションで8万3000ポンド（約1900万円）という驚きの値で落札されました。  
（1人当たり945万円なり～(\*\_\*)）

でも驚くのは未だ早い！♪ベベンベベンベ  
オークションにはこのほかに、  
グルジア出身のシンガー、ケイティ・メルアの  
（詳細は不明ですが、）プライベート・ギグも登場して、

こっちは 25 万ポンド (約 5700 万円) で落札されたんだとき。  
(5700 円とちゃうねんでー。どんだけ金持ちなファンやねん! (>\_<))  
♪ベンベンベンベベベベベ〜ン (くどい!)

再結成を喜んでいたのに、  
最終的にそのチケットの値段に興味が奪われてしまうのは、  
やはり庶民の感覚で仕方ないですね。  
(でも、桁が違い過ぎだろって。)

さて、

今年を象徴する「今年の漢字」が「**偽**」と決まり、  
京都・清水寺で披露されましたね。

去年は「命」が選ばれましたが、  
2位以下も「食」「嘘」「疑」など、  
不信が続いた年を示す言葉が目立ったと聞きます。  
食品偽装事件や年金、防衛省汚職など、  
色んな「偽」が毎日報道され、「またか!」と言う感じでした。  
何を信じたらいいのか、全く分からない状態にウンザリしちゃいました。

なんか、ゴツツー恥ずかしい汚れた国：日本になってしまっています。  
ここまできると、他国のニセモノを非難出来る立場にないような気がします。

「誇」とか「誉」「夢」とか・・・、  
明日に向かう気概を感じる、  
明日を信じて生きている実感を感じられる様になりたいですね。

神保彰さんは、「世界に誇る日本人100人」に選ばれましたね〜。  
(素晴らしい!でもドンドン遠い存在になってしまいます。)

さてさて、

この音楽隊をバックアップし、また心配をしてくれている大勢の皆さん、  
ありがとうございます。  
まだまだ逆風中です。  
でも諦めたりしません。  
どうか、これからも応援をお願い申し上げます。

私個人的には、時間に追われ続ける一年でした。  
でも、「忙」しくっても「心」を「亡」くさない様にとっています。



それでは皆さん、

*MERRY X'MAS & HAPPY NEW YEAR !*

KASHIWARA HABIKINO FUJIEDERA FIRE PROTECTION DISTRICT

(FIRE MAN'S BAND Conductor & Drum Major)

*Wishing you the best*

BATTALION CHIEF Y O S H I F U M I K A W A I

どうか良いお年を(^\_^)/

ご意見、ご感想は、

[kasisyo@khf119-osaka.jp](mailto:kasisyo@khf119-osaka.jp)まで

メール下さいますようお願い致します。

♪バンバンペー——ン

m ( \_ ) m



## ガンバレ、消防音楽隊！102話

今年、初めての練習でも合奏をしたのですが、どうも隊員受けが芳しくないのが「ボレロ」です。同時に楽譜を配布して「吹奏楽のための第一組曲」には、大して抵抗を示しません。

「ボレロは、やっぱり難しかったのかなあ〜？」

と、思っているのですが、

その理由をよく訊いてみると、

「どこをやっているのか分からない。」

「いつに入っているのかよく分からん。」と言うのがその理由でした。

って、オイオイ。

(曲の難しさにはノーリアクションってことかいな(^\_^;))

実際、こここのところ、練習参加人数が少なくって、満足に楽器パートが揃いません。

打楽器がなくても演奏出来そうな曲は、私が指揮をしているのですが、

「ボレロ」でチューバが欠席の時には、小太鼓もなしって言う訳にはいかず、指揮者をなくして私が小太鼓を叩いています。

そのせいで、指揮者なしで「ボレロ」を合奏することが多かったもので、

「どこをやっているか分からない。」

「そこで入るのか分からない。」となっているのでしょう。

(だから、ちゃんと数えろよ!(。)\バシッ☆)

「ボレロ」の難しさは、以前にも、

この「ガンバレ・・・」で紹介したのですが、

当の隊員達には、そんな些細なことはどうでも良い事のようにです。

重要なのは、自分が吹けた(演奏)出来たかどうかであって、

曲の事は、なーんも感じていないご様子です。

やれやれ、演奏企画も内容はすこしずつ進んでいるのに、

演奏する側の皆がこれではどうなることやら。

今年も不安だらけの一年になりそうです S(￣ひ￣;汗

本年も

「ガンバレ、消防音楽隊！」を

どうぞよろしくお願い致します。

ガンバレ、消防音楽隊！103話

いつもアクセスを頂き、  
本当にありがとうございます。  
誠に勝手ながら、事情により  
今月は掲載を自粛させていただきます。  
今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

楽長 河井 賀文

ガンバレ、消防音楽隊！103の二話

先月は折角アクセス頂いたにもかかわらず、  
更新を自粛させて頂いておりました。  
今回は2か月ぶりの掲載です。

3月に計画しておりました  
音楽隊の企画演奏も  
事情により自粛いたしました。

企画演奏が自粛となり、  
練習していた音楽隊員には、  
目前の目標が無くなってしまいましたが、  
次の企画演奏までに、  
演奏の能力を上げていけたらと、  
思っております。

企画演奏は、  
また、改めて練り直して参りたいと考えております。

さて、  
春は、出会いと、別れの季節ですね。

新しい春に心機一転、がんばって参ります。  
これからも、あきらめず、  
**ガンバレ、消防音楽隊！**で前進あるのみです。

楽長 河井 賀文

## ガンバレ、消防音楽隊！104話

いつのまにか4月も終わり、観光日和のGWに突入ですね。  
皆さんはどのようにお過ごしでしょうか？

企画演奏を延期したので、  
音楽隊員達は時間的、心理的に余裕が出来たというか、  
緊迫感がないというか、少々ダラケ気味に見えます。

企画演奏直前での延期でしたので、  
精神的に仕方がない面もあるのですが、  
それにしても、  
演奏予定だった曲を  
「ええっと、どうやって吹くんやった？」  
と呆けていて、  
「おいおい、どうなってるん？」って感じです。

緩みっぱなしの隊員達が慌てるくらいの、  
チョット強めのカンフル剤を  
うたなければならないかも知れませんね (\*\_\*;

でも、「刺激」が必要なのは事実です。

(-\_-)/~~~ピシー!ピシー!  
この「刺激」ではないですね(^^ゞ

ガンバレ、消防音楽隊！ 105話

2008年5月は、人類史上に大きな悲しみを刻む災害が起こりました。

ベンガル湾で発生し、

30日まで消長を繰り返し一旦は衰えるかに見えた熱帯低気圧が、

5月1日午後から急激に成長して

上陸直前の気圧は**962hPa**の大型の猛烈サイクロンに発達し、

5月2日**18時30分**（日本時間同**21時**）ごろミャンマーに上陸しました。

最大風速**51m/s～61m/s**と推定される暴風と、

**12フィート（約3.6m）**の高波が低地帯を襲いました。

5月7日ミャンマー国営テレビは、

死者は**22,464**人に上り、**41,054**人が行方不明になっていると報じました。

旧首都ラングーンから**90Km**の

イラワジ河口デルタ地帯に位置するボガレイ地区（人口**19**万人）は、

約**30Km**にわたり**95%**の家屋が全壊・流失、

ボガレイだけで**10,000**人以上が犠牲となったといえます。

8日、ピラッサ駐ミャンマー米代理大使は7日電話会見し

「死者は最終的に**10**万人を超えるおそれもある」と述べ、

国連人道問題調整事務所（OCHA）も11日、

死者・行方不明者が計**32**万人に達し、

うち死者は最大約**10**万**2**千人、

行方不明者は**22**万人になるという推計を発表しています。

アジアでは

2004年のスマトラ沖地震・津波以来の大規模自然災害となりました。

5月28日、米国防総省で

ミャンマーの被災地支援について

米太平洋軍のキーティング司令官が記者会見し、

「さらなる支援を申し入れているにもかかわらず、拒否している」と

ミャンマーの軍事政権を批判しました。

現地では、コレラの発生が確認されています。

ミャンマーはサイクロン被害で、

今後、伝染病が広がる危険性が高いとは思われますが、

詳しい報道が少なく、実態が分かりにくい状況です。

情報の正確さが救援・救護の質を決定的に左右します。

中国四川省で

5月12日午後2時半（日本時間同午後3時半）に

M8.0の強い地震が発生しました。

震源は成都より北西に約90km、震源の深さは約10kmで、  
多くの命を奪う大惨事になっています。

中国政府の27日の発表によると、

中国・四川大地震の死者は6万7183人、

行方不明者は2万790人となっています。

被災者は4561万人に上り、避難者も1500万人を超えました。

さらに、中国地震局によると、27日午後4時3分ごろ、

四川省青川県を震源とするマグニチュード（M）5.4の余震がありました。

同4時37分には、その5キロ北東の陝西省寧強県を震源とする

M5.7の余震が起きました。青川県だけで42万戸以上が倒壊しました。

中国四川大震災では、余震、洪水、放射性物質の危険が伝えられています。

救援物資受け入れにも、反日政策が影響を及ぼしている報道もあります。

いずれにしても、被災地では、政治は関係なく、

ただ救援を待っているハズです。

人を守るためにあるべき「政治」が、

人を助ける邪魔をしてしまう事もあるのですね。

このままでは今後も被害が拡大していくものと思われます。

ラデツキー行進曲は、

1848年に、北イタリアの独立運動を鎮圧した

オーストリアの貴族で軍人のヨーゼフ・ラデツキー伯爵

(Johann Joseph Wenzel Graf Radetzky/1766-1858)を讃えるため、

同年にヨハン・シュトラウス1世が作曲した行進曲です。

ラデツキー伯爵は、

対トルコ戦争やナポレオン戦争など多くのオーストリアの戦争に参加し、

1836年に元帥、1849年にロンバルディア・ヴェネツィア王国の総督となっています。

このラデツキー行進曲は、

毎年行われる

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の

ニューイヤーコンサートを締めくくるアンコールの末尾を飾る曲として

伝統的に使用されています。

しかし、

2005年には演奏されませんでした。

これは、前年末に起こったスマトラ島沖地震の  
犠牲者へ弔意を示し復興の支援を進めるためであったと言われています。

犠牲者のご冥福と、

被災された方々に

心からお見舞い申し上げます。

一刻も早く被災地に平穏が訪れる事をお祈りします。

参考：

・山村武彦：<http://www.bo-sai.co.jp/myanmarcyclon.htm>、2008/5/30

・アサヒ・コムトップ：

<http://www.asahi.com/special/08004/TKY200805270357.html>、2008/05/30

・フリー百科事典ウィキペディア（Wikipedia）：

<http://ja.wikipedia.org/wiki/>、2008/05/30



ガンバレ、消防音楽隊！106話

先週、大阪府下の消防音楽隊の現・元指揮者を中心とした懇親会がありました。

そもそもこの集まりは、  
消防音楽隊のOBも含めた同窓会って名前で、  
豊中市消防音楽隊の楽長と私が仕掛けて数年前に始まったものです。

懇親会にしろ、同窓会にしろ、  
やたらと「挨拶」がつきものですが、

## でもそんなの関係ねえっ

(もう死後ですね f(^^;)) て感じで、  
第一回目の時は、挨拶抜き、乾杯の発声抜きスタイル。  
「河井さん、挨拶は誰がする？」  
「挨拶ですか？皆さん偉い人ばかりやから、こっちから選びにくいし、  
要らんでしょう(^\_^)」  
「じゃ、乾杯は誰がする？」  
「我々幹事の『乾杯！』って声だけでいいんちゃいます？」  
「ホンマにそんなんでエエンかあ？」  
「いっすよ。気心しれた人達の集まりなんですから。  
今、乾杯の用意してる間に、なんか話したい人がいたら、  
自席で立ち上がって適当に喋って下さいねー)」

これが思いの外、受けました。

(「こんな型破りで面白い懇親会初めてやー」って)  
堅苦しさが全くない雰囲気で大いに盛り上がったものです

その後、継続して行こうと声が上がリ  
今も不定期に続いています。

大阪府下の消防音楽隊は最盛期には14隊が活発に活動をしていましたが、  
今は9隊になっています。

やはり表向きには財政的な理由が廃止への主な理由です。  
特に、国内6隊しかない専任隊として活動していた大阪市消防音楽隊が、  
関前大阪市長の元で廃止された衝撃は大きかったです。

今回もそれぞれの近況を報告し合います。  
皆、個人的には何らかの形で「音楽」に関わっているようです。

でも、しかし、**but**、  
皆、それぞれ、消防音楽隊の「復活」を切望していて、  
密かに胸に「思い」を持っています。

存続中の消防音楽隊も応援してくれています。

## ガンバレ、消防音楽隊！107話

体がおかしくなってしまうような気温が続いていますね。

(特に近畿は異常で、既に日本の気候では無いような気がします。)

メディアでも、熱中症対策が盛んに語られるようになりました。

我々、消防士も災害現場で熱中症に気をつけないと、

部隊活動が出来ない状況を招く恐れがあります。

水分補給はもとより、平素から体調管理を心がけていなければなりませんね。

体調管理も仕事です。

(睡眠・休養も十分に)

皆さんも、どうぞご自愛下さい。

さて、7月は全国の消防署で

「ファイトー！ファイトー！」の掛け声が毎日のように聞かれた事と思います。

これは、毎年恒例になっている、「消防救助技術指導会」(通称：救助大会)が、

7月中旬から全国各地で開催されるため、それに向けての救助訓練を行っていたからです。

昨年に引き続き、今年も近畿支部の救助大会に(連れられて)行って来ました。

今年の場所は、兵庫県三木市にある兵庫県広域防災センター。

(三木市志染町御坂1-19←番地が119になっていますね。ニクイよ！^^)

朝6時にバスに收容され途中事故渋滞に合いながら到着しました。

本当に超快晴！

(ちょっとくらい曇ってくれてもいいんですけど…)

9時の開会式の時点で既に汗だくです。

(ひょえー、閉会式までもつかなあ？)

でも、出場する救助隊員達はもっと大変なはず。

今日は、陸上・水上の部合わせて、

894名403チームが、

日ごろの訓練成果を発揮し競い合います。

開会式のセレモニーから、神戸市消防音楽隊の演奏が聞こえています。

さすがに綺麗な音色です。

神戸市消防音楽隊は昭和27年11月発足で、今年で56年目を迎えます。

年間約200回の演奏活動以外にも、

大規模災害発生時等の「特別消防隊」、

市民に対する「防災教育指導」、

各消防署での「査察業務」などの業務も行っています。

(参照：<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/48/ongakutai/>)

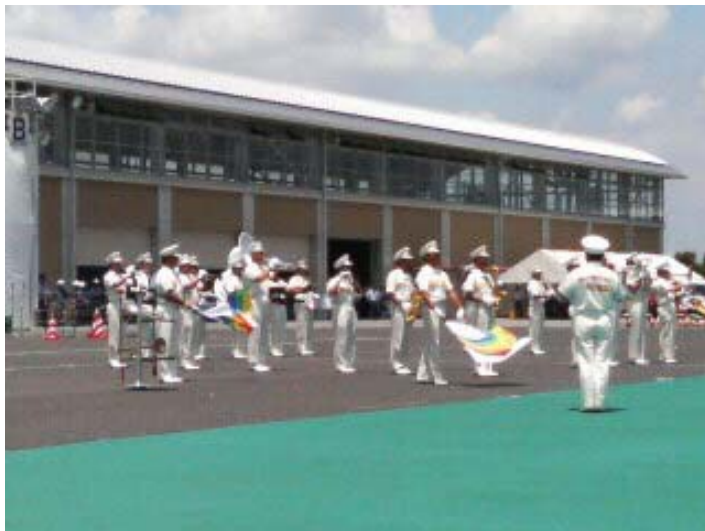
12時が過ぎ、大分予定が押してやっと午前の部が終わりました。

会場は全面舗装のグラウンドで、とにかく本部テントは暑い！

(あかん、干物の気持ちになってきた(\*\_\*))

あの～、一日中本部テントに居なきゃダメですか～？)

地元の保育園の幼年消防クラブの可愛らしい和太鼓演奏のあと、  
神戸市消防音楽隊のドリル演奏がありました。



終了と共に大きな拍手が沸き起こります。

神戸市消防音楽隊は閉会式での演奏した後も残り、  
来場者の見送りの演奏もされていました。

ご無沙汰している方々のお顔も見え、ご挨拶したかったのですが、  
なかなかタイミングが合わず諦めました。

久々に見る神戸市消防音楽隊と、  
力強いドリル演奏には、  
いっぱい刺激をもらう事が出来ました。

ゲリラ豪雨が各地で発生して、被害が発生しました  
犠牲者の方々のご冥福をお祈りいたします

毎日のようにゲリラ豪雨による被害が報道されています。  
このような局地的な豪雨を  
携帯電話にメールで知らせる有料サービスも始まったようです。  
痛ましい犠牲がこれ以上起きない事を祈るばかりです。

朝夕は秋が近付いている事を実感するようになりました。  
北京オリンピックも、感動の余韻を残して無事に閉幕しましたね。  
次は9月6日から17日までパラリンピックが開催されます。  
オリンピックの後に開かれる「パラリンピック」も、  
もう少しマスコミで取り上げたらいいのになって毎回思います。

最近急に、当消防音楽隊員達の動きが激しくなっています。  
自発的に練習日を増やしたり、  
朝練や、昼練、夜練が行われています。  
勤務場所も勤務サイクルもバラバラですので、  
1回の練習参加人数は、ほんとに少数になってしまうのですが、  
それでも確かに練習している「音」が聞こえてくることが増えました。

実は、以前こちらの「ガンバレ」でもお話しましたように、  
自主企画演奏を行う予定にしております。

9月24日（水）12時半から約30間、  
場所は羽曳野市役所の前で行います。  
（小雨決行です）

勤務の関係で抜けられない者や、  
演奏力が落ちてしまって演奏を辞退する者もおりますので、  
満身創痍な感じで、満足な演奏は望めませんが、とにかくチャレンジ！

演奏予定曲目は「涙そうそう」や「アメージング・グレース」、  
「千の風になって」などを予定しております。

お近くの方で、もしお時間が許せるようでしたら、  
そして下手な演奏でも気にしないよって方がいらっしゃいましたら、  
聴いてやって下されば大変うれしいです。

## ガンバレ、消防音楽隊！109話

「朝夕は秋が近付いている事を実感」と先月は書いておりましたが、日格差がとても大きく、ピーカンから曇天、土砂降りまで、体調がおかしくなってしまう程の天候の変化に、「今日は何を着たらいいの？」って感じの毎日ですね。

9月24日（水）に行いました自主企画演奏の前日まで、迷走台風や秋雨前線の影響で、空模様にヤキモキ。

「公式業務」として出演している頃は「何時に中止決定だっけ？」なんて考えていたのとは大違いです。

持っていく楽器や機材の用意をしても久し振りなので、「あっ、これもやんなあ。」なんて会話があちこちから聞こえてきます。私も危うく「チューナー」を忘れるところでした(^\_^;) (気付いてよかった～。電池も切れていたし。)

自主企画であっても、「予防広報」を目的としておりますので、「火の用心」のノボリも用意します。

どこの音楽隊か分らないと困るので、即席で「音楽隊名」もノボリに。(A3コピー用紙を貼り合わせて、ポリエステル製のノボリには・・・、エ～イ、透明クラフトテープで貼っちゃえええ!!) まるで、中学校の文化祭状態です。



(音楽隊名の部分は「紙」で、透明クラフトテープのベタ貼りです。「文化祭」モード

のノボリ。)

心配していた天候は、素晴らしい程の晴天です。

(とにかく暑いし、眩しいし。)

今日は、あくまでプライベートの企画演奏ですから、

「演奏服」は使用(着用)せず、私服です。

羽曳野市役所庁内では、

昼休み時間に我々の演奏がある事のお知らせアナウンスが流れています。

通りがかりの人たちも

「何時からですか？」

なんて訊いてこられます。

丁度「委員会」をされていた市議員の方々も

「お昼ご飯食べたら、すぐ戻って来ますね。」などと声をかけて下さいます。

予定時間になっても、

以前のようなイベントのプログラムで演奏するのとは違って、

演奏スタートのキッカケも合図もありません。

(なんとなく、始めにくいなあ。)



特に司会者もおりません。

曲の紹介もありません。



私は指揮をするので演奏中には、  
聴いて下さっている人達の事は見えません。

一曲演奏する毎に、私が振り返ってお辞儀をします。  
なんとなくですが、振り返る度に少しずつ増えているような気がします。



音楽隊員達は、座って北向き。  
聴いて下さっている方は、日陰から。  
指揮の私は、南向きで太陽に向かって立ったまま。  
（「ひまわり」みたい。）  
途中から顔が熱くヒリヒリ痛くなってきました。  
（ゲー、もう9月下旬やでー。ありえへん(\*\_\*)）

とてもありがたい事に、  
以前共演してもらっていましたが、  
バンド・フロント・チーム「マリー・フラワーズ」も応援に駆けつけてくれました。  
いっぺんに華やかな雰囲気になり、  
自然と拍手も大きくなります。



公的活動自粛から随分と時間が経ちました。

プライベートでの自主企画演奏ですので、  
勤務の関係で抜けられない者もおります。  
演奏力が落ちてしまって演奏を辞退する者もございました。

でも、  
たくさんの人達に助けられて演奏活動を再開出来た事は、  
自分たちが前に進んで行ける自信になったと思います。

あきらめずに、前進あるのみ。

演奏の機会を与えて下さいました、  
羽曳野市長をはじめ関係各位に、  
この場をお借りしまして、お礼申し上げます。



お忙しいところ、  
お集り下さった方々、  
わざわざ立ち止まって聴いて下さった方々、  
本当にありがとうございました。

(既に次回の声も上がっています。ちょっと調子に乗っているかもデス(^\_^)ゞ)